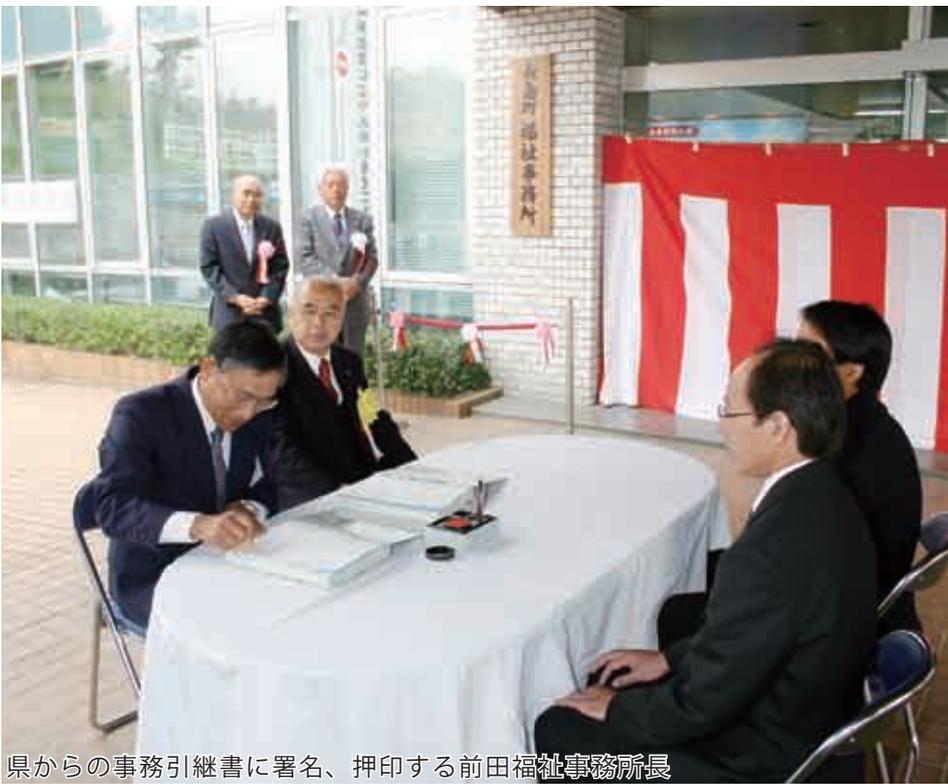


住民のニーズに迅速な対応

九州の町村では初 長島町福祉事務所が開所



県からの事務引継書に署名、押印する前田福祉事務所長

4月から役場内に長島町福祉事務所が開所しました。これにともない4月2日、役場玄関前で開所式が行われ、川添健町長をはじめ、関係者ら約60人が出席しました。

式で川添町長は「福祉の充実の拠点となる事務所を開設することになりました。住民の福祉は、より身近なところで行うことが理想です」とあいさつ。続いて役場入口に掲げられた事務所看板の除幕を行いました。

町では、昨年から同事務所の設置準備を進めてきました。11月から職員2人を県に派遣し、ケースワーカーの研修を行いました。今年1月からは県職員1人も本町に出勤して、開設に備えました。

これまで県で行っていた生活保護の決定や児童扶養手当の認定などが本町でできるようになり、住民のニーズに、迅速に対応できるようになりました。

町村による事務所設置は九州では初。指江庁舎にも窓口を設けています。

新たな商工会がスタート

長島町商工会開所式



テープカットで新しい商工会の幕開け

東・長島両町商工会が合併した「長島町商工会」が4月1日に誕生し、2日に商工会本所で開所式が行われました。

式には、役員や来賓ら約30人が出席。小川千昭初代会長が「地域が広域化することに對し、内部組織を充実させ、合併してよかったですと思われる

ような商工会を築きたい」とあいさつした後、テープカットで新しい商工会がスタートしました。

昨年11月に小川旧東町商工会長と赤瀬宏之旧長島町商工会長が合併契約書に調印し、今年3月下旬に認可され、新商工会の出発となりました。